



2学期スタート！学校に子供たちの元気な声が帰ってきました。

連日、新型コロナウイルス感染症への不安が報道される中ですが、町内の小中学校は、予定どおり2学期の始業式を迎えました。子供たちの笑顔はやっぱり最高です。私達も元気をもらえます。

学校としては、今までの感染対策をさらに徹底させることによって、子供たちと職員を感染力の強いデルタ株から守り、また子供たちの学習・生活環境を通常のまま継続させることが願いです。県教育委員会から「保護者の皆様へ」という文書が届きましたので、これも別紙で配付します（保護者のみ）。ご協力をお願いすること多いと思いますが、みんなで考えて前へ進みましょう。



【1年生】朝の健康観察



【2年生】こちらを向いてくれました



【3年生】夏休みの思い出発表



【4年生】ちょっと水分補給



【5年生】健康チェックで今日も元気



【6年生】楽しかった思い出談義

夏休み中の「校内研修」という先生たちの勉強会

8月26日、全職員が参加して、「確かな児童理解のために」という演題で、右の本の著者で学校心理士の澤 栄美 先生の講話を聴きました。

澤先生は、38年間、養護教諭として県内の小中学校に勤務され、定年退職後の現在は、公認心理士、学校心理士の資格を持ち、広く講演活動などで活躍中です。熊本日日新聞のコラム執筆者でもありました。先生のお話から、私たち教職員は、教育のプロとしてどんな支援ができるかをそれぞれの立場で真剣に考え合いました。子供たちの育ちを保護者の方々と一緒に考え、目の前の子供たちにしっかり向き合っていきたいと思います。



掃除が「縦割り班掃除」に変わります。



1年生もずいぶん学校に慣れました。5・6年生は、学校のリーダーとして立派な言動が見られます。そこで、もっと異学年のかかわりの中で学び合ってほしいという意図から、掃除を「縦割り班」ごとに行うことにしました。9月2日(木)から始めます。

最初は戸惑いもあると思いますが、やりながら対応していきます。職員も、広く他学年の児童を見ることができるといったメリットがあります。横のつながりだけでなく、縦のつながりを大切にするのは、社会生活ではごく自然のことです。

本校で身に付けさせたい資質能力として掲げている、「自律・協働・表現」の力も必要になってきます。「どうしたら下学年の子供たちに伝わるかな」と高学年の子供たちは考えるでしょうし(表現)、下学年の子供たちは、お兄さんお姉さんの頑張る姿を見て、自分を律することを学べるかもしれません(自律)。学年の違う子供たちが一緒に学校をきれいにしようとする姿が見られたら嬉しいです(協働)。

